

科目名	フォトアートワークB	整理番号	
学科	スタイリングフォト学科	期	前期
コース	スタイリングフォト		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	60	作成者	山口晴久

【科目の到達目標】

写真における最も基本的なモチーフであるポートレイトを基に、撮影に際して各自の技法や表現方法を確立させることを目標にする。

【科目の概要】

撮影に必要なライティング、アングル、画面構成などの基本要素の考え方、手法に対して個性的な表現を実習を通して模索する。

【授業計画】

90分/コマ

- 1.2 ポートレイトの基本確認1(基本のライティングパターン4種、バリエーション2種)
- 3.4 インドアでの自然光管理(安定した屋内自然光の見方)
- 5.6 アウトドアでの自然光管理(ロケでの光の見方と背景の管理)
- 7.8 ポートレイトの基本確認2(ヘッドポジションとカメラアングル)
- 9.10 ポートレイトの基本確認3(ヘッドポジションとカメラアングル)
- 11.12 ライティングの基本確認1(光源の理解と光の質)
- 13.14 ライティングの基本確認2(1灯ライティングによる光のグラデーション)
- 15.16 ライティングの基本確認3(3灯ライティングによる光のグラデーション)
- 17.18 撮影時の露出と色管理(露出計とグレーカードを使用した管理)
- 19.20 スタジオ実習(三分身でのローキー撮影)
- 21.22 スタジオ実習(半身でのハイキー撮影)
- 23.24 スタジオ実習(半身での切り抜き用撮影)
- 25.26 スタジオ実習(全身での切り抜き用撮影)
- 27.28 浅い被写界深度でのポートレイト撮影
- 29.30 試験

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

プリント配布

【教材・教具】

パソコン・カメラ

科目名	フォトアートワークC	整理番号	
学科	スタイリングフォト学科	期	通年
コース	スタイリングフォトコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	120	作成者	岩田賢彦

【科目の到達目標】
 ポートフォリオ用と卒業制作に向けた撮影と撮影技法の復習と応用
 各自の個性を生かした表現方法の確立を目指します

【科目の概要】
 さまざまなロケーションやライティングを駆使して表現の幅を広げていく
 作画意思に沿った再現性のある撮影技法を習得

【授業計画】 90分/コマ	前期		後期
1 2	復習とスキルチェック	31 32	現像作業と講評(卒業制作)
3 4	ポートフォリオ撮影実習(外ロケ)	33 34	撮影実習(外ロケ)
5 6	ポートフォリオ撮影実習(外ロケ)	35 36	撮影実習(スタジオ)
7 8	現像作業と作品講評	37 38	撮影実習(外ロケ)
9 10	スタジオでの機材セッティング演習	39 40	撮影実習(外ロケ)
11 12	コンポジ撮影(就活用)	41 42	撮影実習(スタジオ)
13 14	ライティング復習(人物ライティング)	43 44	撮影実習(外ロケ)
15 16	ライティング復習(立体物撮影)	45 46	撮影実習(スタジオ)
17 18	現像作業と講評	47 48	現像作業と講評(卒業制作)
19 20	インドア撮影時の自然光管理	49 50	上田学園コレクション展示準備①
21 22	外ロケ撮影時の自然光管理①	51 52	上田学園コレクション展示準備②
23 24	外ロケ撮影時の自然光管理②	53 54	イルミネーション撮影①
25 26	現像作業と講評	55 56	イルミネーション撮影②
27 28	機材メンテナンスと準備	57 58	現像作業と講評
29 30	期末考査(筆記 実技)	59 60	期末考査(筆記 実技)

【成績評価方法】
 提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】
 筆記用具、カメラ、PC

科目名	フォト・ビデオ演習A	整理番号	
学科	スタイリングフォト学科	期	前期
コース	スタイリングフォトコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	60	作成者	田中圭祐

【科目の到達目標】

スチールカメラ(一眼レフ・ミラーレスカメラ)を使った動画撮影と映像編集が出来、テーマに基づいた企画設計、動画制作が出来る。簡易的な合成等の編集知識の修得

【科目の概要】

スチールカメラ(一眼レフ・ミラーレスカメラ)とビデオカメラの違いを理解し、スチールカメラのムービーの特徴を活か動画を作成し、写真的動画表現が出来るテクニックを修得 また簡易的な合成等の編集知識の修得

【授業計画】

90分/コマ

- 1-2 動画の基礎知識の復習
- 3-4 簡単な動画制作での復習～撮影～
必要に応じてビデオ三脚の使用
- 5-6 編集～素材の組み立て～ソフトの使い方の復習
- 7-8 追加素材集め、動画的思考
- 9-10 編集～様々なツールの紹介～
- 11-12 編集3～簡単な仕上げまで～講評
- 13-14 インタビュー動画撮影、絵コンテの制作
- 15-16 インタビュー動画の撮影
- 17-18 動画撮影の応用 編集
- 19-20 動画撮影の応用 仕上げ～講評
- 21-22 動画撮影の応用(レイヤーを用いた簡易的な合成)
- 23-24 動画撮影の応用 撮影
- 25-26 動画撮影の応用 編集
- 27-28 動画撮影の応用 編集2
- 29-30 仕上げ～最終講評～

【成績評価方法】

提出物評価80% 授業態度20%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

科目名	フォトクリエイトⅢ	整理番号	
学科	スタイリングフォト学科	期	前期
コース	スタイリングフォトコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20 % 実習 80%
時間数	60	作成者	大橋真理

【科目の到達目標】

フォトグラファーがクライアントの意向に沿った質感や素材感を表現するためにはロケーションや時間、機材などの撮影計画が大切です。本科目では屋外ロケーションにおける実践撮影を繰り返し返す中でディテールや色の表現の幅を広げていただきます。

【科目の概要】

ディレクターイメージの再現を屋外ロケーションで実現させるためには光線状態や背景処理を瞬時に判断するスキルが必要です。現場での撮影位置やライトやレフ版の有効利用を実践撮影の中で、しっかりと習得しましょう。

【授業計画】

90分/コマ

- 1・2 プレタ作品制作Ⅰ テーマ・イメージ ラフ提案
- 3・4 イメージからの準備① スタイリング・背景の構成
- 5・6 イメージからの準備② イメージチェック
- 7・8 撮影実習 テスト撮影① 照明チェック
- 9・10 撮影実習 テスト撮影② モデルでのテスト撮影
- 11・12 撮影実習 撮影本番
- 13・14 プレタ作品制作Ⅱ テーマ・イメージ ラフ提案
- 15・16 イメージからの準備① スタイリング・背景の構成
- 17・18 イメージからの準備② イメージチェック
- 19・20 撮影実習 テスト撮影① 照明チェック
- 21・22 撮影実習 テスト撮影② ロケーションチェック
- 23・24 撮影実習 テスト撮影③ モデルでのテスト撮影1
- 25・26 撮影実習 テスト撮影④ モデルでのテスト撮影2
- 27・28 撮影実習 撮影本番
- 29・30 考察・テスト

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

科目名	フォトアートワークA	整理番号	
学科	スタイリングフォト 学科	期	前期
コース	スタイリングフォトコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 40% 実習 60%
時間数	60	作成者	窪山 洋子

【科目の到達目標】

フォトグラファーが営業するにあたり、WebサイトやPDFでのやり取りが増える一方、作品をブックにまとめたポートフォリオはいまだに有効的なプレゼンテーション方法である。本科目では、作品のプレゼンテーションに必要な基礎知識を学ぶことで自分の作品に合った最適な見せ方、伝え方を習得する。

【科目の概要】

フォトグラファーとして作品をアピールするためのポートフォリオブックや展示作品は、定型フォーマットがなく自由である一方、「見やすさ」という点では一定の法則がある。初見の人にも「印象に残る作品」を目指し、理論と実践、そして講評を繰り返すことで、作品のブラッシュアップとプレゼンテーションスキルを高める。

【授業計画】

90分/コマ

- 1・2 講義 ポートフォリオブックの種類とそれぞれの特徴
- 3・4 講義 ポートフォリオブックの編集とレイアウトのポイント
- 5・6 ポートフォリオブック制作 実習①
- 7・8 ポートフォリオブック制作 実習②
- 9・10 中間発表
講義 ポートフォリオブックの紙選びとCVの作成
- 11・12 ポートフォリオブック制作 実習③
- 13・14 ポートフォリオブック制作 実習④
- 15・16 ポートフォリオブック プレゼンテーション・講評
- 17・18 講義 多様化する作品の見せ方
- 19・20 講義 額装の役割と種類、作品加工
- 21・22 実習 額装の基礎: マット制作
- 23・24 講義 作品展示におけるサイズとレイアウト
- 25・26 実習 ギャラリー・美術館めぐり
- 27・28 実習 ギャラリーでの展示実習
- 29・30 作品のプレゼンテーション・講評

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

デビッド・ディーン、『美術館・博物館の展示 理論から実践まで』、丸善株式会社、2004/3
国内外の写真集(主にポートレートやファッション写真)
ファッション関連の動画(Youtube、DVD等)

【教材・教具】

PC 投影モニターTV 配布レジュメ プリンター プリント用紙 ポートフォリオブック 額装用品

科目名	クリエイトWEB	整理番号	
学科	スタイリングフォト学科	期	前期
コース	スタイリングフォトコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	30	作成者	山崎 裕二

【科目の到達目標】

デジタルデータの編集や加工のテクニックの応用を修得する。

【科目の概要】

撮影した画像を任意のイメージに加工、編集するテクニックを演習しながら解説する。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 フォトレタッチテクニック①
- 2 フォトレタッチテクニック②
- 3 フォトレタッチテクニック③
- 4 イメージフォト制作①
- 5 イメージフォト制作②
- 6 イメージフォト制作③
- 7 イメージフォト制作④
- 8 イメージフォト制作⑤
- 9 ファッションフォト制作①
- 10 ファッションフォト制作②
- 11 ファッションフォト制作③
- 12 ファッションフォト制作④
- 13 ファッションフォト制作⑤
- 14 まとめ
- 15 テスト

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

科目名	デジタルワークⅡ	整理番号	
学科	スタイリングフォト学科	期	前期
コース	スタイリングフォトコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義20% 実習80%
時間数	30	作成者	清水 優子

【科目の到達目標】

編集側の立場から、デザイナーに対してある程度のデザイン指示ができる技術を持てるようになる。
また、デザイナー・CLからのイメージ・オーダーを受け取り、対応できるカメラマンになることを目指す。

【科目の概要】

SNSやAIが発達している今、カメラマンとしてのみではなく、デザインに対する理解力・制作能力も持ち合わせていれば将来的にニーズの強い存在になると考えています。
本年度の3年生は昨年度からの調整がメインとなります。
理解度・進捗具合によって授業内容の変更、ズレの可能性あり

【授業計画】

90分/コマ

- 1 プレタ展①
- 2 プレタ展②
- 3 プレタ展③
- 4 プレタ展④
- 5 プレタ展⑤
- 6 プレタ展⑥提出→各自印刷へ
- 7 フライヤー制作①(2年次の続き)
- 8 フライヤー制作②(2年次の続き)
- 9 フライヤー制作③(2年次の続き)提出
- 10 写真集のデザイン①
- 11 写真集のデザイン②
- 12 写真集のデザイン③
- 13 写真集のデザイン④
- 14 写真集のデザイン⑤
- 15 テスト

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

プリントを配布

【教材・教具】

筆記用具、PC・マウス必須

科目名	フォトデザインA	整理番号	
学科	スタイリングフォト学科	期	前期
コース	スタイリングフォトコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	30	作成者	野田 光晴

【科目の到達目標】

写真を用いたグラフィック作品、冊子が作成できる。

【科目の概要】

当科目では写真を撮影するだけでなく、写真を用いたグラフィック作品や冊子を制作できるようになることで、従来のフォトグラファーの枠を超えたスキルを習得する。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 グラフィック、画像処理の基本復習
- 2 グラフィック演習1:色彩
- 3 グラフィック演習2:形態
- 4 グラフィック演習3:文字
- 5 グラフィック演習4:まとめ課題
- 6 描画演習1:ペンツール、ブラシツール
- 7 描画演習2:立体表現
- 8 描画演習3:写真を使ったグラフィック課題
- 9 描画演習4:写真を使ったグラフィック課題
- 10 エディトリアル演習1:アドビインデザイン
- 11 エディトリアル演習2:冊子デザイン
- 12 エディトリアル演習3:冊子デザイン
- 13 エディトリアル演習4:冊子デザイン
- 14 まとめ
- 15 試験

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

科目名	英会話Ⅱ	整理番号	
学科	スタイリングフォト学科	期	前期
コース	スタイリングフォトコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義10% 実習90%
時間数	30	作成者	Ae Fa Hwang

【科目の到達目標】

3年次後期の短期留学に向けて、英語でのコミュニケーション能力を養い幅広い対応力と実践力を身につける。様々な状況において英語を使うことを恐れない自信をつける。

【科目の概要】

主に旅行英語とプレゼンテーションで使う実践的な対応能力を養う。
海外の人と臆することなく会話し、自身の作品について説明できる訓練をする

【授業計画】

90分/コマ

- 1 Introduction / Review
- 2 Describing Fashion 1 : Vocaburlary_Pattern/Outfit
- 3 Describing Fashion 2 : Vocaburlary_Adjective
- 4 Describing Fashion 3 : Phrases_How to Wear The Clothes
- 5 Traveling English 1-Airport & Airplane
- 6 Traveling English 2-Shopping
- 7 Traveling English 3-Restaurant
- 8 Traveling English 4-Guidance
- 9 Numbers
- 10 Parts of body and face
- 11 Time / Review
- 12 Debate
- 13 Presentation / Reserch
- 14 Presentation / Preparetaion
- 15 Presentation

【成績評価方法】

提出物40%、小テスト20%、期末テスト30%（プレゼン）、授業態度10%

【教科書・参考書】

プリント配布

【教材・教具】

PC , CD player, Dictionary(Smartphone Application), Magazines